

4. 特別養護老人ホーム飛鳥晴山苑

1) 総括的概要

令和4年度はコロナと共存し、本格的に収支改善を図ることが最優先・最重要課題であった。各事業所に目標値を設定【特養150/156、ショートステイ18/16、一般デイ40/45、認知デイ9/12、リハビリデイ22/25、訪問看護件数32/日】し、上半期(9月末)を達成目途とした。達成時期は遅れたが、年度最終の3月に特養が達成、月間延べ人数4,659名は過去最高の数字だった。苦戦していた通所も年度終盤には稼働が上昇し、3月にはほぼ達成域まで到達した。

特養は延人数、昨年度対比+1,112名の51,890名と前年稼働率89.2%から91.1%と1.9ポイント上昇。退所者53名、入所者70名はともに過去最大でありほぼ5日に1名が入所したことになる。ショートステイは+342名の6,124名とコロナ感染による13日間の営業休止があったにもかかわらず稼働率は104.9%と高稼働を維持することができた。また特養への空床利用数759名は過去最高数であり、特養稼働率の押し上げに寄与している。通所は、一般デイ(2F一般デイ・4Fリハビリデイ)が+126名の20,326名、認知デイが△316名の2,005名となった。リハビリデイ単体では+916名と伸ばせたが、2F一般デイ及び認知デイはそれぞれ昨年度対比92.9%、86.4%と昨年度の数字を上回れなかった。それでも年度終盤にはかなり登録者数が増え、令和5年度に向けては明るい兆しが見えてきている。居宅介護支援事業所は令和5年7月に特定事業所加算を算定予定の準備のため、取り扱い件数を下方調整した1年であった。訪問看護は△896名の6,396と昨年度対比87.7%と厳しい数字となった。職員数名がコロナに罹患し訪問をキャンセルせざるを得ないことが続いたこととセラピスト対象利用者が減少したことが影響した。今後は看護職員の採用難が最大の課題である。全体の収支であるが、事業活動資金収支差額では昨年度を約10,000千円上回る約105,000千円で終えた。

2) 施設概要

施設の名称	特別養護老人ホーム 飛鳥晴山苑	
建設地	東京都北区西ヶ原4-5-1-1	
施設の種別及び定員	①特別養護老人ホーム (ユニット型・個室)	156床
	②ショートステイ (ユニット型・個室)	16床
	③デイサービスセンター (一般型)	45人
	④デイサービスセンター (認知症対応型)	12人
	⑤デイサービスセンター (介護予防型)	25人×1日2回
	⑥居宅介護支援事業所	
	⑦訪問看護ステーション	
	⑧地域包括支援センター	
敷地面積	6,500.02 m ²	
建築構造規模	鉄筋コンクリート造 地上6階建	
建築面積	3,774.65 m ²	
延床面積	12,830.11 m ²	
駐車台数	49台	
着工	平成18年 12月13日	
竣工	平成20年 3月31日	

特別養護老人ホーム 飛鳥晴山苑 職員体制

事業所	職 種	常 勤	非常勤
管 理 者	施 設 長	1名	
特別養護老人ホーム (短期入所事業含む)	生 活 相 談 員	3名	
	介 護 支 援 専 門 員	1名	1名
	介 護 職 員	78名	11名
	看 護 職 員	4名	3名
	機 能 訓 練 指 導 員	2名	
	事 務 職 員	2名	
	管 理 栄 養 士	1名	
	洗 濯 ・ 清 掃 ・ 運 転		8名
	介 助 ・ 生 活 支 援 員		10名
通 所 介 護 事 業	生 活 相 談 員	3名	
	介 護 職 員	6名	13名
	看 護 職 員		3名
	機 能 訓 練 指 導 員	1名	
	運 転 手		18名
居 宅 介 護 支 援 事 業	介 護 支 援 専 門 員	3名	
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	看 護 職 員	3名	2名
	機 能 訓 練 指 導 員	3名	
	事 務 職 員	1名	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	社 会 福 祉 士	1名	
	看 護 師		1名
	事 務 員	1名	
	ケ ア マ ネ	2名	1名
	見 守 り コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1名	
	医 師		5名
計		117名	76名

資格取得状況

社 会 福 祉 士	9名
社 会 福 祉 主 事 任 用	11名
介 護 支 援 専 門 員	17名
正 看 護 師	18名
准 看 護 師	1名
作 業 療 法 士	3名
理 学 療 法 士	2名
管 理 栄 養 士	1名

介 護 福 祉 士	90名
実 務 者 研 修 終 了 者 (1 級)	5名
初 任 者 ・ 基 礎 研 修 終 了 者 (2 級)	31名

【重複所持あり】

4-1. 特別養護老人ホーム事業関係

2022年度の介護度は3.8で一昨年から下降傾向にある。年間の入所率は91.4%、稼働率は89.8%（空床含まず）であった。今年度の入退所者は、入所70名退所53名と昨年同様に入所者の3分の1の方が退所する状況であった。現在の北区の制度では、退所から入所までの空床期間が長くなってしまうこと、入所面接を辞退する件数も増加傾向にあることで稼働率が伸び悩んでいる。新型コロナウイルス感染症も大分落ち着いてきているが、家族の収入の伸びは鈍く物価高の影響も重なり厳しい状況である。年度末には稼働率も95%台に上がってきているので、引き続き入所面接を効率よく進め、早期入所に繋げていきたい。

1) 入所前住所別在苑者数

入所前住所地	人 数	入 所 前 住 所 地	人 数
赤 羽	5	王 子	1
赤 羽 南	2	王 子 本 町	14
赤 羽 台	2	滝 野 川	29
赤 羽 西	6	西 ケ 原	18
志 茂	4	栄 町	2
西 が 丘	3	堀 船	7
浮 間	6	豊 島	17
岩 淵 町	1	中 里	6
神 谷	5	上 中 里	5
上 十 条	3	田 端	8
中 十 条	2	田 端 新 町	2
東 十 条	2	区 外	3
小 計	41	小 計	112
		合 計	153

2) 月別入退所状況

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 所	5	2	6	9	6	6	5	2	5	6	10	8	70
退 所	4	5	2	2	7	3	6	5	5	6	6	2	53

3) 入所経路及び退所理由

区分	入 所 経 路									退 所 理 由			
	自宅	病院	特養	老健	介護医療院	有料老人ホーム	グループホーム	サ高住	計	死亡	長期入院	施設	計
男	4	1		6		5	2		18	8	6		14
女	24	4		17	1	5	1		52	31	5	3	39
計	28	5	0	23	1	10	3	0	70	39	11	3	53

4) 在苑者の年齢構成

区分	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	合 計	平均	最高	最低
	男	1	2	4	0	4	8	3	2	24	82.5	96
女	0	1	2	6	21	31	45	23	129	89.3	105	68
計	1	3	6	6	25	39	48	25	153	88		

5) 介護度別分類

①介護度別障害老人の日常生活自立度 寝たきり度

介護度 ランク	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
自立						0
J 1			2	1		3
J 2				1		1
A 1	1		4	5	1	11
A 2	1	5	15	8	6	35
B 1		6	5	8	6	25
B 2		3	12	28	13	56
C 1			3	2	2	7
C 2			1	4	10	15
計	2	14	42	57	38	153

②介護度別認知症高齢者の日常生活自立度

介護度 ランク	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
自立			2		1	3
I		2	1	5	3	11
II a		3	4	6		13
II b	1	4	3	6	2	16
III a		3	21	21	14	59
III b	1	2	4	9	3	19
VI			6	8	14	28
M			1	2	1	4
計	2	14	42	57	38	153

③男女別平均介護度

区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均
男		1	9	10	4	24	3.7
女	2	13	33	47	34	129	3.8
計	2	14	42	57	38	153	3.8

医務室部門

<R4年度(2022年度) 受診同行・入所者入院状況・看取り状況・面接業務>

- ①受診看護師同行 60件
 - *転倒、転落、打撲、外傷、痛み、その他の再診 17件
 - *発熱、意識障害、胸部不快他 13件
 - *呼吸不全、血流不全、嘔吐 疼痛他 15件
 - *その他(皮膚潰瘍、額関節脱臼 蜂窩織炎 便秘等) 15件
- ②救急搬送 23件
 - *吐血2件、痙攣1件 呼吸困難、肺炎7件、転倒外傷1件
発熱・尿路感染3件 ルウス2件 敗血症ショック1件 心不全4件 癌転移1件
精査目的 1件 COVID19陽性による民間救急搬送13件
- ③入院件数 51件 (現在入院中1件)
 - *平均入院日数 17.3日
 - *入院利用病院 花と森の東京病院10件、明理会中央総合病院 18件
北医療センター5件、苑田第一病院1件、帝京大学2件
王子生協病院1件 杏雲堂病院2件 健康長寿医療センター2件
逋信病院 2件 永寿病院1件 都立大塚病院2件
都立広尾病院3件 *医療施設赤羽4件 医療施設滝野川1件
- ④看取り件数 34件
 - *老衰 32件 尿路感染 1件 膵臓癌 1件
 - *平均年齢 92.2歳
- ⑤入所事前面接実施件数
 - *特養面接 68件 (ご家族のみ面接も含む) ショートステイ2件
- ⑥新型コロナウイルスワクチン接種・インフルエンザワクチン接種(入居者・職員)
- ⑦COVID19陽性者 入居者17名 ゾーニング・陽性者の対応

4-2. 短期入所生活介護（ショートステイ）事業

～令和4年度の総括～

今年度もコロナの影響により自主的に利用を控える方や入所受け入れ中止した日があり稼働率が落ちてしまった月があったが、年度で見ると昨年度よりも利用者数、稼働率も上昇している。コロナ禍でも新規利用や緊急の依頼も多くショートステイの存在が地域住民にとって大きな物になっていることも感じた一年であった。

令和5年度も4年度の取り組みを継続し集客をしていく。

- ①コロナ禍の中でも安心・安全に利用して頂けるよう感染予防を徹底した環境作り。
 ②緊急の依頼を積極的に受け入れ地域社会に貢献していく。③新規利用者の獲得。
 ④胃ろうやインシュリン自己接種の方など医療行為が必要な方の積極的な受け入れ。
 以上4項目に組み、稼働率アップを図っていく。

1) 利用状況

	実利用者数	利用者延人数	送迎回数	平均利用者数
4月	91	519	229	17.3
5月	85	543	211	17.5
6月	83	510	221	17.0
7月	61	351	210	11.0
8月	88	551	212	17.7
9月	77	502	203	16.7
10月	86	527	224	17.0
11月	88	526	223	17.5
12月	86	519	214	16.7
1月	90	519	210	16.7
2月	94	488	204	17.4
3月	101	569	220	18.4
合計	1,030	6,124	2,581	16.7

2) 介護度別延利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	10
要支援2	0	2	1	2	1	1	1	2	1	2	2	3	23
要介護1	25	20	17	10	16	21	21	22	21	24	21	26	244
要介護2	14	14	15	7	21	18	17	17	16	18	17	19	193
要介護3	17	15	20	14	18	15	16	18	20	19	19	21	212
要介護4	20	17	15	13	16	9	12	12	11	12	17	14	168
要介護5	15	16	13	12	14	13	18	18	16	15	16	18	184
自立	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	4
申請中	2	0	1	1	0	1	1	4	1	2	2	2	17
合計	93	85	82	62	88	79	87	94	87	92	95	103	1,055

3) 利用者年齢構成

	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	合計	平均	最高	最低
男	2	3	5	11	16	23	10	3	73	83.2	97	57
女	2	1	6	9	23	44	55	32	172	88.0	103	57
合計	4	4	11	20	39	67	65	65	245	85.6		

4-3. 通所介護(デイサービス) 事業(介護予防含む)

今年度はサービス提供時間を7-8時間・5-6時間から6-7時間に一本化し全職員、日勤のみにした事により朝礼を開始することで情報周知の部分で改善が見られた。稼働率は新規の取り込みが進まず終結利用者が上回り、年度対比で92.9%と上半期の稼働の低迷が響き前年度割れをしてしまった。しかし、コロナの利用控えをご利用者様も下半期に入り戻ってこられ、新規利用者が増加した事により増加傾向で年度を終えた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和3年度 延べ人数	1000	1031	1024	1067	739	1030	993	983	943	729	685	896	11120
1日平均	38.5	39.7	39.4	39.5	28.4	39.6	36.8	37.8	39.3	30.4	28.5	33.2	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和4年度 延べ人数	787	817	841	824	794	801	901	929	820	869	885	1021	10289
1日平均	30.3	30.3	32.3	31.7	29.4	30.8	34.7	35.7	34.2	36.2	36.9	37.8	

2) 介護度別利用状況

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	34	40	35	36	37	36	31	39	36	38	39	48	449
要支援2	51	57	68	64	56	72	55	50	43	47	57	56	676
要介護1	279	285	327	295	299	286	358	368	330	347	351	415	3940
要介護2	211	221	198	191	199	185	210	211	182	189	176	195	2368
要介護3	108	107	111	132	114	117	119	129	105	107	106	115	1370
要介護4	80	82	79	84	71	85	103	114	107	118	123	153	1199
要介護5	24	25	23	22	18	20	25	18	17	23	33	39	287
合計	787	817	841	824	794	801	901	929	820	869	885	1021	10,289

3) 曜日別平均利用状況(予防含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月曜日	30	34.8	36.5	33.3	31.6	32	35.2	35	37	37	38.8	38.8	35
火曜日	34.5	33.2	34.8	31.8	30.4	31.5	34.8	38.8	32	34.8	36	36	34.05
水曜日	29.3	28	30	29	28.2	31	35.8	39.4	41	40.5	39.8	39.2	34.2667
木曜日	24.8	27.3	28.4	28.3	25	28	31.3	30.8	26.5	31.8	30.8	34.4	28.95
金曜日	27.4	29	30	30.8	29.5	31.8	35.8	35	35.3	35.3	38.5	40.6	33.25
土曜日	35.2	35	36	36.2	31.3	31	35	33.8	33.3	38	37.5	37.8	35.0083
日曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4-4. 認知症対応型通所介護(デイサービス)事業(介護予防含む)

今年度はサービス提供時間を7-8時間・5-6時間から6-7時間に一本化し全職員、日勤のみにした事により朝礼を開始することで情報周知の部分で改善が見られた。前年度からコロナによる稼働率への影響は少なかったが上半期に新規獲得が困難だった為、稼働率の低迷が見られた。しかし、下半期に入り一般型から認知フロアへの移動の促進や新規獲得が進み稼働率が増加傾向で年度を終えた。

1) 利用者月間延べ人数推移

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和2年度 延べ人数	217	183	199	205	171	138	200	217	224	203	166	171	2294
1日平均	6.6	6.4	7.8	8.3	8.3	7.7	6.6	6.8	8.2	8.3	7.6	8.0	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和3年度 延べ人数	192	224	237	244	121	224	241	218	194	154	104	168	2321
1日平均	7.4	8.6	9.1	9.0	4.7	8.6	9.3	8.4	8.1	6.2	4.3	6.2	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和4年度 延べ人数	166	153	152	129	148	138	145	174	188	196	192	224	2005
1日平均	6.4	5.9	5.8	5.0	5.5	5.3	5.6	6.7	7.8	8.2	8.0	8.3	

2) 介護度別利用状況

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	33	19	10	27	15	22	10	2	4	4	4	4	154
要介護2	10	7	28	0	0	0	11	24	27	26	24	27	184
要介護3	17	21	24	24	26	24	32	46	45	43	44	48	394
要介護4	52	41	35	37	52	38	38	46	57	64	60	65	585
要介護5	54	65	55	41	55	54	54	56	55	59	60	80	688
合計	166	153	152	129	148	138	145	174	188	196	192	224	2,005

3) 曜日別平均利用状況(予防含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月曜日	7.5	7.6	8.3	7.3	7.0	5.5	4.4	5.8	8.3	8.8	8.8	10.5	7.5
火曜日	7.3	7.4	6.0	5.8	5.6	7.0	7.0	10.0	10.3	10.8	10.0	8.0	7.9
水曜日	5.5	4.0	4.8	4.0	5.2	4.5	5.0	5.8	6.5	7.5	7.8	7.2	5.7
木曜日	7.0	7.0	6.8	5.8	6.8	6.2	6.5	7.3	8.3	9.0	9.0	8.8	7.4
金曜日	7.6	5.0	6.0	5.6	5.8	5.0	4.5	5.8	7.8	7.8	8.0	8.6	6.5
土曜日	3.8	3.5	3.3	2.0	2.3	3.5	4.8	5.0	6.0	5.3	4.5	4.8	4.1
日曜日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4-5. 運動器機能向上特化型介護予防通所介護事業(デイサービス)

「リハビリデイあすか」

令和4年度は年度初頭から新型コロナウイルスの感染拡大の影響による利用者の自主的な利用控えの影響が続き、4月当初は800名を切る実績でスタートした。しかし、その後月を追うごとに利用者数を伸ばし、年度の合計では事業計画に掲げた11000名には達しなかったが、昨年度を超える9996名の利用実績となり、翌年度の更なる利用者数の増加に向けて勢いのある変化が見られる一年間となった。

また、既存のご利用者による口コミを元に、新規のご利用者の利用希望者が契約につながるケースも数件あり、数年来注力していた『楽しくて、ためになる』デイサービスを目指す、というスローガンの実現に向けた行動が新規ご利用者の獲得という形で実を結びつつある様子も見られた。

さらに要支援や要介護の認定を受けていない地域の方達の介護予防の為の通いの場としても多くの高齢の方達が参加し、卒業後の自主グループの運営に寄与した他、これらの卒業生の中からも後に認定を受け、リハビリデイをはじめとする飛鳥晴山苑での介護サービスを利用するようになったケースも数件あり、飛鳥晴山苑のサービス利用の入り口としての役割も果たしていたと思われる。

運営上の課題として掲げていた加算の取得や他部署との協力体制については模索を続けている状況ではあったが、「サービス提供体制強化加算Ⅱ」は引き続き算定し、新たに介護福祉士を取得した職員もいるため、勤務実績如何によっては翌年度にさらに上位の「サービス提供体制強化加算Ⅰ」の取得も視野に入れていく事になる。

本年度中に入職した職員もいたが、すぐに職場に溶け込み、ご利用者からの受け入れも良く、直接労いの言葉を頂戴したり、職員らが提案したことによってご利用者の行動に安定感が出る、または活発さが増進する、といったこともあり、業務に就く職員の励みにもなっていた。

また、一部の職員の病欠や出勤停止によりそれまで行っていなかった業務についても取り組む機会があり、また限られた人数での業務遂行によるスキルアップも見られ、翌年度に向けて業績向上への土台が醸成されたことが感じられた。

「リハビリデイあすか」利用状況

	R3平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4平均
利用者数	167.3	165	168	168	170	160	168	169	166	168	176	176	177	169.3
延べ利用者数	756.7	796	819	851	808	835	846	854	843	757	814	845	928	833.0
営業回数	42.6	43	43	44	43	45	43	44	43	39	39	40	45	42.6
1回の平均利用者数	17.8	18.5	19.0	19.3	18.8	18.6	19.7	19.4	19.6	19.4	20.9	21.1	20.6	19.6

4-6. 居宅介護支援事業 「ケアパートナーあすか」

令和4年度は年度始めに「特定事業所加算Ⅲ（307単位/月）」取得を目指す方向転換し、法定件数内(介護=105件)まで減少させる管理が必要となる。新規を断りつつも想定外の退院復帰や家族が認定を受けるなど増が優先の場面もあり、算定は令和5年度上半期に持ち越された。

1) 月別ケアプラン作成件数（予防プラン含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	139	147	150	147	143	140	139	138	139	138	133	133	1,686
令和3年度	137	135	131	137	140	143	143	143	140	140	134	136	1,659
令和4年度	135	136	137	135	136	137	132	129	130	128	122	124	1,581

2) 地区別件数

月 地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
北区	122	122	123	121	124	125	120	118	120	118	112	114	1,439	1,499
豊島区	13	14	14	14	12	12	12	11	10	10	10	10	142	160
板橋区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	135	136	137	135	136	137	132	129	130	128	122	124	1,581	1,659

3) 介護度別件数

月 地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
要支援1	15	14	14	13	12	10	9	10	10	10	10	10	137	258
要支援2	9	10	10	11	9	8	8	8	8	8	8	8	105	145
要介護1	52	53	51	53	52	54	48	45	44	44	41	40	577	590
要介護2	22	21	23	20	23	23	24	23	22	20	19	19	259	275
要介護3	14	13	15	15	17	18	19	19	22	21	22	22	217	154
要介護4	15	16	16	16	16	17	17	17	17	18	14	17	196	159
要介護5	8	9	8	7	7	7	7	7	7	7	8	8	90	80
合計	135	136	137	135	136	137	132	129	130	128	122	124	1,581	1,659

4-7. 訪問看護事業「訪問看護ステーション 飛鳥晴山苑」

<基盤づくりと経営の安定化へ向け>

12年目を迎えたステーションは3年目となる新型コロナ感染症流行の中、新年度の業務を開始した。理念・ビジョンを基本に、経営の安定化を図る努力を行った。新入職員を迎えることが出来ず1月に常勤看護師が1名退職、看護師は5人（常勤3人非常勤2人）、セラピストは3人（常勤）体制で引き続き質の高い看護とリハビリの提供を行った。今年度はスタッフの新型コロナ感染による訪問件数減、利用者の感染による訪問キャンセルと1日あたりの訪問件数が大きく下回った。経営的にはかなり苦しい状況であったが、北区から新型コロナ感染者の健康観察業務委託受け架電による健康観察、感染者への訪問を実施し収益を上げることが出来た。12月には開設12周年記念の学習会を開催した。チーム活動も学会や研修（オンライン開催）に参加しそれぞれ活発に活動できた。「呼吸チーム：包括的呼吸リハビリの指導」「褥瘡チーム：ステーション内の勉強会を主催しスタッフのスキルアップに貢献、毎月の褥瘡カンファレンスや物品管理、スキンケアの指導」「認知症チーム：学会発表、認知症利用者への対応についてスタッフの相談・指導」「エンドオブライフチーム：在宅看取りの手引書作成、スタッフの看取り支援の教育」。年間在宅看取り数は12事例で昨年度の2.4倍であった。管理業務では特に災害時の対応、感染対策を重視しBCPも所内で作成途中で完成まじかである。利用者総数は前年度より減少。月の利用者数98～82人、延べ訪問件数477～633回/月と前年度を下回った。平均単価は、介護・医療合わせて9,325円と昨年より若干アップ。訪問看護という特質上スタッフが少なく訪問件数は減少、収入金額も減少となる。今後も地域に根差したステーションとして運営を続けていくためには、常勤看護師の採用・育成が急務である。加えて現スタッフの定着、労働意欲を維持できる魅力ある健全なステーション作りに注力したい。

令和4年度実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険	介護保険収入	2,955,844	3,024,768	3,183,822	3,136,536	3,136,958	3,090,217
	述べ件数	343	343	353	339	348	343
	平均単価	8,617	8,818	9,019	9,252	9,014	9,009
オプション	利用者負担	0	0	0	0	0	0
医療保険	医療保険収入	2,308,340	2,044,400	1,990,890	2,321,650	2,392,080	1,922,200
	述べ件数	263	210	221	255	285	204
	平均単価	8,929	9,925	9,144	9,104	8,428	9,643
オプション	利用者負担	40,000	40,000	30,000	0	10,000	45,000
実習費など		1,244,100	779,072	1,586,750	0	548,350	1,001,550
事業収入		6,548,284	5,888,240	6,791,462	5,458,186	6,087,388	6,058,967

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	介護保険収入	2,906,404	2,918,533	2,862,809	2,788,949	2,833,614	2,888,140
	述べ件数	321	324	328	305	304	323
	平均単価	9,054	9,007	8,728	9,144	9,321	8,941
オプション	利用者負担	0	0	0	0	0	0
医療保険	医療保険収入	1,878,810	1,680,330	1,545,270	1,493,863	1,652,700	1,908,900
	述べ件数	198	181	170	160	173	212
	平均単価	9,589	9,283	9,148	9,336	9,553	9,098
オプション	利用者負担	20,000	0	10,000	0	0	20,000
実習費など		705,942	11,500		290,400	477,400	94,200
事業収入		5,511,156	4,610,363	4,418,079	4,573,212	4,963,714	4,911,240

年間総収入 65,820,291円

職員研修参加状況

月	内 部 研 修 名	外 部 研 修 名
4月	新規採用職員研修	令和4年度 東京都認知症介護研修
	ユニットリーダー研修	
5月	感染症予防訓練研修(コロナ他)	学会分類2021ととろみ調整用食品の活用のポイント
	コンプライアンス研修(個人情報保護・パワハラ等)	令和4年度 第9・10回 東京都認知症介護実践研修
		TOKO ω TOKO 第21回オンライン学習会「看護師が行うリンパ浮腫ケア」
		令和4年度第1期 東京都介護支援専門員専門研修
6月	感染症予防研修(コロナ・食中毒)	第23回日本認知症ケア学会大会
	ICT研修	指定訪問看護の事業の人員及び運営に関する基準
	身体拘束適正化・虐待防止研修	
7月	感染症予防訓練研修(コロナ・食中毒・尿路感染)	相乗効果を実感！チームワーク研修
	口腔・摂食嚥下研修	非がん疾患のエンドオブライフケアセミナー
		令和4年度 北区介護支援専門員研修「ケアマネージャーのリスクマネジメント」
		令和4年度 日本訪問看護財団研修「まだ間に合う！スタッフ・利用者のいのちと暮らしを守るBCP策定」
		人生最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに基づいた意思決定支援
		CMAT 令和4年度第1回web研修「精神疾患の理解と面接技法」～かわり方の距離感・思考過程のポイントを学ぶ～
		令和4年度 認定調査員現任研修(第1回)
		実践！気持ちよく排泄するための体づくり
	在宅における感染マネジメント-訪問看護で新興感染症に備える-	
8月	看取り・ユニットケア研修	「食を楽しむためのにおいと嚥下の知識」～とろみ調整食品について実体験してみよう～
	褥瘡予防研修	「地域に必要とされている訪問看護の新しい役割について」～各地区支部における行政や関係団体からの委託事例発表～
		気持ちよく出すことを叶える排便ケア -在宅の排便ケアとアセスメントの極意-
		“伝える”を“伝わる”に変える！説明力向上研修
		CMAT web研修「スーパービジョン総論」
		令和4年度 東京都入退院時連携強化研修
		その人らしい人生を支えるためのリハビリ職
	NPO法人日本健康運動指導士会2022年度第4回本部講習会	
9月	自立支援研修	NPO法人日本健康運動指導士会2022年度第5回本部講習会
	リスクマネジメント研修	「VR認知症体験会」
		令和4年度 北区介護支援専門員研修「高齢者虐待 専門職としての気づきの視点を理解する」
		令和4年度 福祉事業者向け 成年後見人制度説明会(基礎編、実践編)
		北区ケアマネージャーの会 第1回懇談会「ケアマネ・利用者の近未来のため、なにが必要？なにができる？」
	リハビリケーション・ケア 合同研究大会	

10月	ユニットリーダー研修	日本エンドオブライフケア学会第5回学術集会「人権としてのエンドオブライフケア」
	口腔ケア・摂食嚥下研修	東京都立駒込病院 第33回市民公開講座「緩和ケアとの上手なつき合い方」
		東京都立大塚病院 地域連携勉強会「認知症看護の基礎知識」
		2022年度 顔の見える連携会議「防災・災害」
		令和4年度 北区介護支援専門員研修「アセスメントとケアプランの関連性を高める」
		北区在宅ケアネット 多職種連携研修会
		ステップアップ研修会「エンドオブライフケア」
		認知症の食支援がよくわかる摂食嚥下マネジメント
		令和4年度第2期 東京都介護支援専門員更新研修
		令和4年度 介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修
11月	感染症予防訓練研修(ノロウイルス)	「虐待についての対応を学ぶ～北区の現状とケース紹介、あんしんセンターのかかわりを通して学びを深めよう～」
	認知症・精神的ケア研修	呼吸ケア・リハビリテーション～現在、そして将来の展望～
		訪問看護サミット2022 訪問看護制度30年をステップに訪問看護のさらなる発展に向けて
		褥瘡 2022 第1回 正しいポジショニングとシーティング
		褥瘡 2022 第2回 事例検討会「長時間座位が発生に関与した褥瘡管理」
		東京北医療センター エンド・オブ・ライフケア
12月	虐待防止研修	訪問看護ステーション12周年学習会「つなげるACP～もしバナゲームを通じて、自分のもしバナを考える～」
	ノーリフト研修	令和4年度 北区介護サービス事業所管理者支援研修「ハラスメントとカスタマーハラスメント」
		社会福祉法人晴山会 ファーストステップ研修
		NPO法人日本健康運動指導士会2022年度第9回本部講習会
		令和4年度 北区介護支援専門員研修「認知症の人の口を支える視点」
		在宅におけるパーキンソン病ケア
		令和4年度 第17～20回 東京都認知症介護実践者研修
		たきケアの会「BCP、災害時、緊急時の支援について」
		令和4年度 介護サービス事業者支援研修「介護サービスにおける認知症の利用者のケアについて」
		北区ケアマネージャーの会 第2回定例会「知ろう！学ぼう！ケアマネジメントの基本方針」
1月	身体拘束適正化研修	第三回エールのつながる夜会「終末期褥瘡」
		令和4年度 リハケアシンポジウム「よりよい活動を求めて支援する-義肢装具の視点から」
		王子税務署 インボイス制度説明会

2月	口腔ケア・摂食嚥下研修	福祉人材研修 ハラスメントとは何か～ハラスメントの理解を深める
	福祉用具活用研修	令和4年度 東京都ACP推進事業 アドバンス・ケア・プランニング取組推進研修～本人の意思に沿った医療・介護の意思決定支援を考える～
		家族アセスメント支援研修
		訪問看護の実践事例を論理的視点で言語化してみよう
		令和3年度 都立駒込病院 虐待等対策研修
		令和4年度 介護支援専門員研修「新型コロナウイルス感染症自宅療養者対応」
		令和4年度 第3回 北区サービス事業者研修「介護職のためのアンガーマネジメント入門～感情をコントロールする基本スキル～」
		対応が困難と感じる看護学生や看護職の支援の方法を考える
		北区認知症 初期集中支援研修
3月	リスクマネジメント研修	令和4年度 在宅人工呼吸器に関する講習会 eラーニング
	新規採用フォローアップ研修	第12回 東京都立豊島病院 認定看護師地域連携セミナー「意外と知らない足のはなし」
		北区在宅ケアネット 自宅訪問における暴力・ハラスメント初級研修
		地域連携ストーリーケアセミナー～豊かな日常生活につながるストーリーケアを一緒に学ぼう～
		令和4年度 北区介護支援専門員研修「F-SOAIIPを体験してみませんか」
		北区リハネット研修 訪問分野における小児領域のキホンのキ～おいでよ、小児領域～
	第8回 パーキンソン病 多職種連携 勉強会～臨床心理士の役割～	

実習生受入状況

研修名	依頼元	人数	実習日
介護実習（2段階）	日本福祉教育専門学校	2名	R4年4/25～5/15（15日間）
介護実習（2段階）	東京福祉保育専門学校	1名	R4年10/31～11/30（23日間）
介護実習（2段階）	淑徳大学短期大学部	2名	R5年1/23～2/13（18日間）
例年、教校の介護学生の実習や近隣中学校の体験学習等を受け入れていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策の為に中止	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
訪問看護実習（訪問看護）	帝京高等看護学院	16名	R4年5/9～5/18 R4年6/6～6/15 R4年7/4～7/14 R4年9/12～9/21 R4年11/7～11/9 R5年1/30～2/8 R5年3/6～3/15
訪問看護実習（訪問看護）	首都大学東京	24名	R4年11/22～11/25 R4年11/28～12/1 R4年12/6～12/9 R4年12/12～12/15 R5年1/17～1/19

実習生受入状況（地域包括）

研修名	依頼元	人数	実習日
在宅看護論臨地実習	帝京高等看護学院	2名	R4年5/31～6/1

行事・会議・委員会実施状況

	行 事	会 議	委 員 会
4 月	※特養の行事は新型コロナウイルス感染防止対策の為年間を通し中止 お花見（デイサービス）	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 事故防止対策委員会
5 月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	医療的ケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会
6 月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 褥瘡対策委員会 事故防止対策委員会
7 月	納涼祭（デイサービス）	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会
8 月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 事故防止対策委員会
9 月	敬老会（デイサービス）	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	医療的ケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 褥瘡対策委員会

	行 事	会 議	委 員 会
10月	運動会 (デイサービス)	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 事故防止対策委員会
11月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会
12月	忘年会 (デイサービス)	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 褥瘡対策委員会 事故防止対策委員会
1月	新年会 (デイサービス)	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	医療のケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会
2月	節分 (デイサービス)	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 事故防止対策委員会
3月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	医療のケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 褥瘡対策委員会